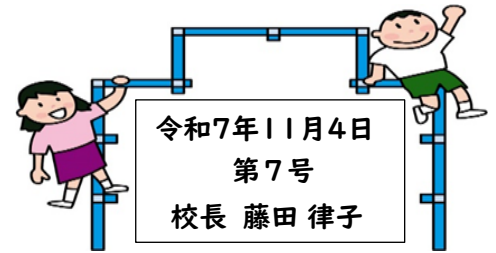
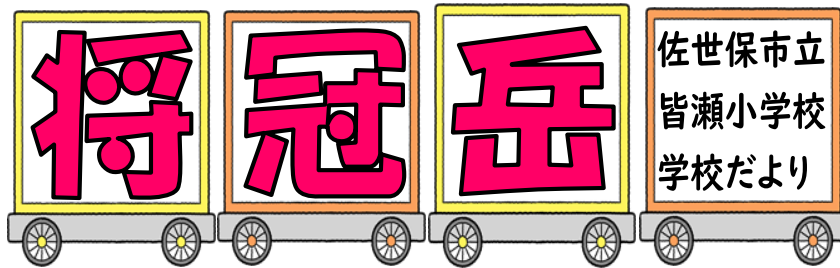


からだを鍛え知を磨き いつも誰にでも思いやりを持ち ぜんりょくで努力し伸びていく子供の育成



学年を超えて、みんな仲良し!

10月24日(金)に、縦割り活動がありました。1年生から6年生までの縦割りグループで集まって遊びます。6月から月に1回のペースで行われていますが、1年生たちは、縦割り班の6年生を見つけると、飛びついて腕に巻きつくようにして大喜びです。いす取りゲーム、ジャンケン列車、ふやし鬼、なんでもバスケット……、どのグループでも笑顔があふれました。

遊びを計画した6年生に話を聞くと、「みんなが楽しめて、仲良くなれるように計画している。」「1年生もいるので、けがやケンカが起きないように、1年生でも楽しめる遊びを考えた。」とのこと。ありがとう6年生。おかげで、皆瀬小は、学年を超えて、みんな仲良しです。

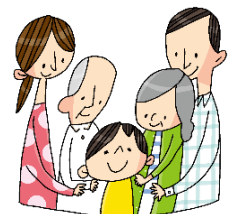


「元氣もりもりカード」で、家族の笑顔が増えました!

学校保健委員会のテーマに沿って、PTA保健部さんがお世話してくださっている「元氣もりもりカード」。9月8日～12日に1回目が実施されましたが、いかがだったでしょうか。提出してくださったカードを見せていただくと、それぞれのご家庭で温かい取組が行われていて、とても嬉しくなりました。これは大事なことだなあと感じます。一部を紹介させていただきます。

家族目標

「1日1回ハグする」「学校の出来事をしっかり目を見て話す」「家族にもあいさつをする」「家族で遊ぶ」「お手伝い」「読書・読み聞かせ」「一緒に運動、ストレッチ」「みんなで夕食」「食べた物を片付ける」「家族仲良く、けんかをしない」



おうちの人からの感想

- 1年 「テレビやゲームの時間を決めることで、家族での時間が増え、とても充実した1週間になりました。」
- 2年 「学校でのことを話してくれるのは毎日聞いていて楽しかったので、続けて欲しいです。」
- 3年 「カードのおかげで、テレビも時間を意識して見ていました。今回は自分でアラームをかけて、一人で起きるのを頑張っていました。」
- 4年 「家族で宝探しは時間を忘れて盛り上がりました。宝をお菓子にするのがお勧めです。」
- 5年 「毎日、家族と将棋をしていました。メディアのことを忘れて遊んでいたのが良かったです。」
- 6年 「個々で過ごすことも増えてきて、親子時間を意識して取らなくてはいけないなと思います。」

生活リズムは、子どもたちの心と身体の健康につながっていて、笑顔ややる気、根気強さにも影響する大切なことです。せっかくの「元氣もりもりカード」を上手に活用して、家族の笑顔を増やしてくださいね。2回目の「元氣もりもりカード」の実施日は、11月10日(月)～14日(金)です。

福祉の視点で自分たちの町を調べてみよう

4年生が、総合的な学習で、福祉をテーマに充実した学習を行っています。

これまでに、佐世保市社会福祉協議会の協力のもと、アイマスク体験や車いす体験を通して、障がいを実感しました。また、聴覚障がい者の方や視覚障がい者の方に出会い、直接お話を聞くことで、障がいがあってもそれを工夫で乗り越えて生き生きと頑張っている姿に触れ、「かわいそう」ではなく、「すごいな」という感想を持ちました。そして、点字を教えてもらって、点字で視覚障がい者の方にお手紙を書く活動も行っています。

次は、これまで学んだバリアフリーやユニバーサルデザインの視点で、実際の町内や施設に出かけていき、多様な人々が安心して暮らせる工夫を調べます。福祉について、しっかりと自分の考えを持つ子どもを育てたいと思います。



11月の予定

3日(月)文化の日

4日(火)体重測定5・6年

5日(水)体重測定3・4年

6日(木)就学時健康診断

1~3年給食後下校

10日(月)体重測定1・2年

16日(日)家庭の日

18日(火)国際理解指導員5・6年

19日(水)音楽発表会4年(アルカス佐世保)

食育・徳育の日

21日(金)避難訓練(引き渡し訓練)

23日(日)勤労感謝の日

24日(月)振替休日

25日(火)薬物乱用防止講演会6年

26日(水)居留地交流5年、クラブ活動

27日(木)個人面談・特別日課

28日(金)個人面談・特別日課

SC本山先生来校日

30日(日)PTA清掃

読書…世界が広く多様であることを知る

2週間に一度、市立図書館に本を借りに行きます。先週は借りていた4冊のうち1冊しか読めなかったため、3冊はそのまま返しました。なかなか本を読む時間が取れません。それでも私は、図書館や書店で本を選ぶのが好きです。その本の中に広がる世界を想像して、わくわくするのは、

私は、本の世界を知ること、子どもの心が強くなるのではないかと思います。本を読むということは、物語の登場人物の人生を追体験することです。いじめや挫折など辛いことにぶつかった時、子どもはその状況が自分の世界のすべてだと思い込んでしまいがちですが、本は、世界は広く、いろんな人がいることや、いろんな生き方があることを教えてくれます。また、人は経験を通して成長し変わることができることも教えてくれます。

読書を通して、世界にはいろいろな人がいて、一人一人がその人らしく一生懸命に生きていることを知り、「自分も大丈夫。自分らしく頑張ろう。」と感じてくれたらいいなと思います。

秋が急に深まってきました。親子で読書、いかがですか。

